

# Japanese-German Graduate Externship 日独共同大学院プログラムニュースレター

2009(平成21)年3月発行

〒464-8602 名古屋市千種区不老町 名古屋大学物質科学国際研究センター事務室

日独共同大学院プログラム HP <http://irtg.rcms.nagoya-u.ac.jp/>

## 特別講演 “East meets west. On the progress of chemistry and chemical industry in Japan and in the west.”

名古屋大学で開催された第6回日独共同セミナーにおいて、“East meets west. On the progress of chemistry and chemical industry in Japan and in the west.”と題した特別講演が行われました。東京工業大学名誉教授の山本明夫先生を招いて、ミュンスター大学と名古屋大学の研究者や学生が、双方の国の近代化学の歴史を学ぶという試みでした。化学の歴史を証明する様々なものも披露され、普段の講演とは違った内容のこの特別講演に、会場の参加者は大いに盛り上がりました。



日本学術振興会 日独共同大学院プログラム Japanese-German Graduate Externship

ミュンスター大学・名古屋大学  
第6回日独共同セミナー  
The 6th Joint seminar - University of Münster and Nagoya University

平成20年 10月2日(木) 3日(金)  
名古屋大学野依記念物質科学研究所 2階大講演室 Nagoya University

特別テーマ 「日本とヨーロッパの近代化学の歴史」  
ゲスト 山本明夫 (東京工業大学名誉教授)  
●10月2日(木) 午前の部: 午後の部(特別講演)  
●10月3日(金) 午前の部: 昼の部(ポスター発表) 午後の部: 懇親会

参加費 学生  
名古屋大学: 口頭発表8件、ポスター発表30件  
ミュンスター大学: 口頭発表15件

問合せ先: 名古屋大学物質科学国際研究センター事務局 052-789-5907

### セミナー

#### 第5回日独共同セミナー

開催日時: 2008年5月1・2日 (ドイツ・ミュンスター大学にて)

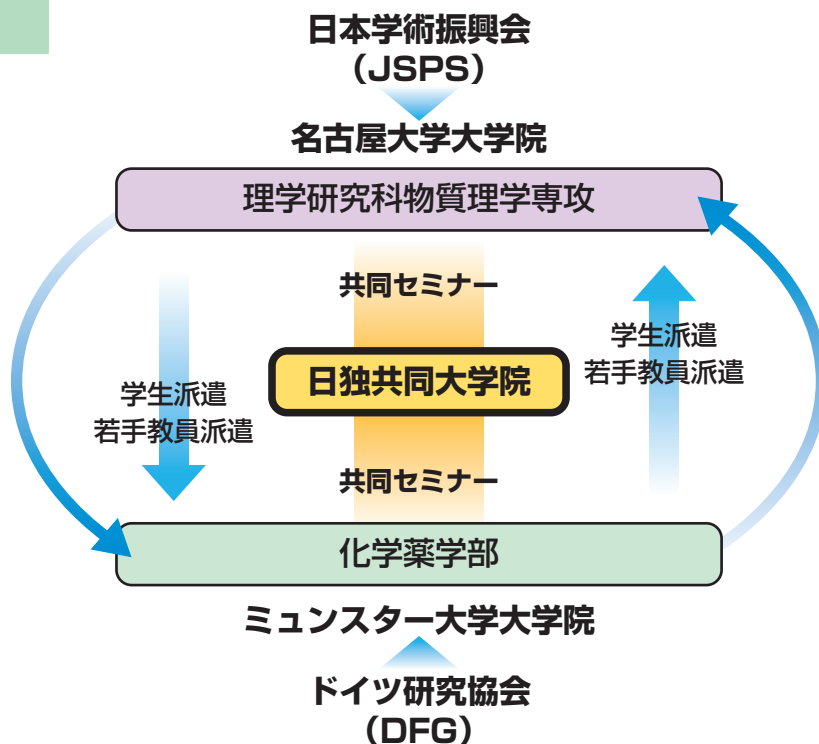
#### 第6回日独共同セミナー

開催日時: 2008年10月2・3日 (名古屋大学にて)

### 今年度の派遣実績

派遣学生9名 教員派遣4名 (受入学生7名 受入教員2名)

## このプログラムのしくみ

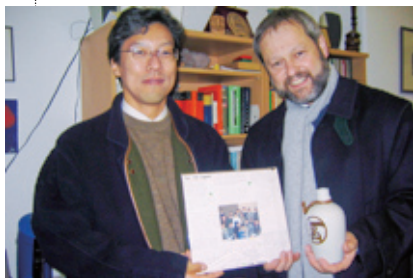


節分の豆まきでの一コマです。名古屋大学東山キャンパスの裏手にある、千代保稲荷大社に学生達と行きました。節分の意味を説明し、いざ豆まきが始まると、まかれる豆をキャッチするよりこうした方が早いとばかりに、長身のミュンスター大学の学生はひょいと手をのぼし直接豆を受け取ったのです。周囲の人も私達も思わず苦笑い…。でも本人は本当に満足気でした。

日本の文化や慣習に触れる時に私達が普通にいる意外の反応を見せられた時、彼らがドイツから来た学生達なんだという事を再認識する事があります。日常生活で他の日本人学生と同じものを食べ、変わりなく過ごしている様子を見ているとあまり感じない事ですが、折にふれて、様々な日本の風物詩も体験し、また笑顔を見せてもらえればと思いました。

## 平成20年度 派遣教員

- 氏名 吉川浩史  
期間 2008年8月13日～2008年8月22日
- 氏名 松本剛  
期間 2008年12月13日～2008年12月23日
- 氏名 ステファン イレ  
期間 2009年1月22日～2009年1月29日
- 氏名 深澤愛子  
期間 2009年3月10日～2009年3月15日



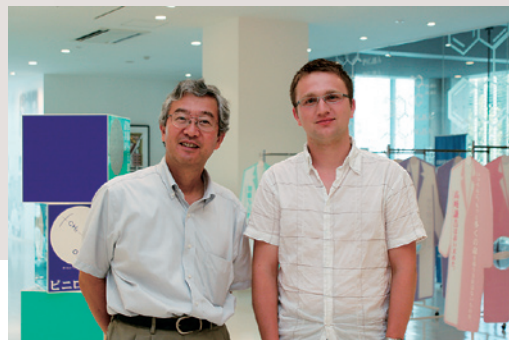
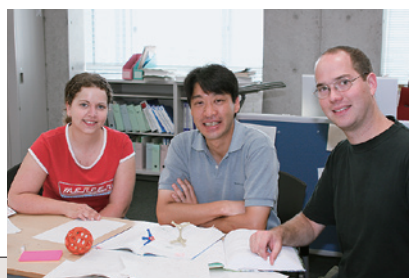
## 平成20年度 受入教員

- 氏名 Gerhard Erker  
期間 2008年9月12日～2008年10月5日
- 氏名 Barnhard Wünsch  
期間 2009年3月7日～2009年3月13日



## 平成20年度 受入学生

- 氏名 Verena Trepohl  
期間 2008年1月8日～2008年7月31日  
受入研究室 有機化学研究室 (伊丹健一郎教授)
- 氏名 Matthias Quick  
期間 2008年2月1日～2008年7月31日  
受入研究室 有機化学研究室 (伊丹健一郎教授)
- 氏名 Christian Wiese  
期間 2008年2月1日～2008年7月31日  
受入研究室 生物無機化学研究室 (渡辺芳人教授)
- 氏名 Andre Job  
期間 2008年8月4日～2008年9月30日  
受入研究室 反応有機化学研究室 (山口茂弘教授)
- 氏名 Gerrit Lübbe  
期間 2008年9月23日～2009年3月31日  
受入研究室 無機化学研究室 (巽和行教授)
- 氏名 Philipp Böckman  
期間 2008年9月23日～2009年3月31日  
受入研究室 生物無機化学研究室 (渡辺芳人教授)
- 氏名 Kirsten Spannhoff  
期間 2009年2月1日～ (2009年5月31日)  
受入研究室 無機化学研究室 (巽和行教授)



平成20年度 派遣学生

氏名 畑中翼  
期間 2008年2月24日～2008年8月3日  
派遣先研究室 Prof. Frank Glorius  
研究課題 含窒素ヘテロ環カルベン配位子を有する鉄錯体を用いた触媒反応の開発

氏名 南保正和  
期間 2008年6月30日～2008年9月29日  
派遣先研究室 Prof. Barnhard Wünsch  
研究課題 新しい含窒素ヘテロ環の合成と生物活性評価

氏名 千駄俊介  
期間 2008年12月10日～2009年1月16日  
派遣先研究室 Prof. Gerhard Erker  
研究課題 長鎖炭化水素をもつ Cp\*W スルフィド錯体の合成

氏名 太田俊  
期間 2009年2月21日～2009年3月25日  
派遣先研究室 Prof. Bart-Jan Ravoo  
研究課題 分子自己組織化膜の機能創製

氏名 劉 莉麗  
期間 2009年3月2日～2009年3月28日  
派遣先研究室 Prof. Ernst-Ulrich Würthwein



平成20年度 セミナー派遣学生  
(第5回日独共同セミナー：ドイツ)

氏名 平川拓矢  
講演タイトル Mechanism of Dehydrative Allylation of Alcohols Catalyzed by [CpRu(h3-C3H5)(2-C9H6NCOO)]PF6

氏名 南保正和  
講演タイトル Chemical Modification of Fullerene through Rh and Pd Catalysis

氏名 近藤良彦  
講演タイトル Preparation, Photocatalytic Activities, and Dye-Sensitized Solar-Cell Performance of Submicron-Scale TiO2 Hollow Spheres

氏名 桑原彰太  
講演タイトル Determining Molar Absorbance Coefficients of Single-Walled Carbon Nanotubes

